

がん化学療法看護認定看護師



がん化学療法看護認定看護師は、がん化学療法（抗がん剤治療）を受ける患者や家族が、「确实」「安全」「安楽」に治療ができ、生活の質（QOL）の向上ができるように支援しています。また、治療は外来や短期入院での治療になってきており、副作用が出現する時期は自宅ですごしているため、患者自身で副作用に対処することが必要になってきています。患者や家族が治療の副作用をセルフケアできるように指導をするとともに、看護スタッフへは、治療の副作用についての看護や抗がん剤の投与管理等、質の高い看護が提供できるよう教育を行っています。

また、当院では年間約50件の造血幹細胞移植を行っています。同種移植を受けた患者は長期に亘りGVHDと付き合っていかなければならないため、月に1回、移植後の外来フォローを医師とともにを行っています。GVHDの評価をするとともに、生活指導や相談を中心に行っています。



化学療法新人勉強会



移植後のフォローアップ